

ふっさ



市議会だより

No.217 令和元年10月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



▲多彩なイベントや模擬店で盛況の第31回インターナショナルフェア2019 (10月5・6日)

令和元年
第3回定例会
9月3日~30日

平成30年度 各会計決算を認定

幼児教育・保育の無償化等に伴う

一般会計補正予算を可決

平成30年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)	
一般会計	24,950,685,117円	24,503,727,432円	446,957,685円	
特別会計	国民健康保険特別会計	6,932,100,517円	6,653,827,891円	278,272,626円
	介護保険特別会計	4,264,096,697円	4,071,165,744円	192,930,953円
	後期高齢者医療特別会計	1,215,013,091円	1,201,104,514円	13,908,577円
	下水道事業会計	1,762,161,458円	1,338,740,158円	423,421,300円
総合計	39,124,056,880円	37,768,565,739円	1,355,491,141円	

令和元年第3回定例会
令和元年第3回定例会は、9月3日から30日まで会期28日間で開催されました。
17名の議員による一般質問が行われ、市長提出議案18件、諮問1件が審議されました。
また、市民から提出のあった陳情2件のうち、1件は不採択、1件は継続審査となりました。

日	内容
30日	議会運営委員会
26日	第3回定例会5日目
24日	議会
20日	議会改革に関する協議会
19日	横田基地対策特別委員会
18日	総務文教委員会
18日	市民厚生委員会
18日	建設環境委員会
13日	4日目
13日	決算審査特別委員会
12日	3日目
12日	決算審査特別委員会
11日	2日目
11日	決算審査特別委員会
10日	1日目
10日	決算審査特別委員会
10日	全員協議会
6日	第3回定例会4日目
6日	決算審査特別委員会
5日	第3回定例会3日目
5日	議会運営委員会
4日	第3回定例会2日目
4日	議会運営委員会
3日	第3回定例会1日目
3日	議会運営委員会

◆会議の開催状況と審議日程◆

● 主な内容 ●

- ◆一般質問(要旨) …… 2~4面
- ◆平成30年度決算審査 …… 5面
- ◆可決された案件 …… 6面
- ◆議案の審議結果 …… 7面
- ◆委員会の審査 …… 7~8面
- ◆特別委員会活動 …… 8面



一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は11月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

改正地方自治法に伴う内部統制の対応と学校給食費の公会計化について

正和会
杉山 行男 議員

質問 地方自治法の一部改正により、福生市では内部統制評価報告書の作成等について努力義務とされたが、その対応について伺う。また、学校給食費を公会計化すれば、内部統制に資するのではないか。

市長 内部統制評価報告書については、令和2年度までに導入が義務

づけられている都道府県、指定都市の動向等により判断したい。

教育長 学校給食費の公会計化は、令和2年度から実施予定である。

特別支援教育について

質問 特別支援学級と特別支援教室の目的や違いについて伺う。

教育長 特別支援学級は、通常の学級における学習が困難な児童・生徒のために編制された学級で、特別の教育課程を編成し、指導している。特別支援教室は、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を要する児童・生徒に対し、実効性のある取り組みを行っている。



▲給食で使用する野菜の納品の様子

来年度の福生七夕まつりについて

自民党福生
町田 成司 議員

質問 来年の七夕まつりは、東京オリンピック・パラリンピックの期間に重なるという話もあるが、開催日等についてどのように考えているのか。

市長 実行委員会の各部会において、開催時期や規模について協議していただき、企画委員会で各部会の

意見をすり合わせ、9月26日開催予定の福生七夕まつり実行委員会で、開催日等を正式に決定したい。

道路上に設置されている防犯カメラについて

質問 市内の道路上に防犯カメラが設置されているのを見る機会も多いが、市内にはどのくらいの数の防

犯カメラが設置されているか。

市長 市で道路上に設置している防犯カメラは、通学路の35台と、平成30年9月に福生警察署の要請により設置した福生駅周辺地域の7台がある。そのほか、商店街等で補助金を活用して設置している防犯カメラが9台ある。



▲今年の七夕まつりの様子

高齢運転者による事故の予防について

公明党
堀 雄一郎 議員

質問 高齢運転者による交通事故が社会問題となっているが、市内高齢者の自動車運転免許証の保有数、事故件数と予防について伺う。

市長 市内の75歳以上の高齢者の自動車運転免許証の保有数は、令和元年7月末現在1,925人で、事故件数は、平成30年は11件となっている。

市では、予防策として、安全安心まちづくりだより「あんまち」や高齢者向け交通安全講習会で免許証の返納に関する啓発を行っている。

公共交通を補完する視点から見た移動支援について

質問 高齢化が本格化する中、利用しやすく、持続可能な地域公共交

通の実現は重要課題であるが、市の所見を伺う。

市長 2025年問題と呼ばれる超高齢化社会の到来が様々な影響を及ぼすと懸念されており、高齢者の移動支援を含めた様々な施策について、行政需要や費用対効果などを十分に考慮しながら、検討してまいりたい。



▲安全安心まちづくりだより「あんまち」

7月31日に発生した熊川地区及び熊川二宮地区の停電について

正和会
小林 貢 議員

質問 7月31日午後8時43分ごろに発生した熊川地区の停電の詳細と市側の対応等について伺う。

市長 市は、東京電力パワーグリッド株式会社に状況を確認し、情報メールを配信した後、担当職員が市役所へ参集し、市民の問い合わせに対応したほか、福生第二小学校体育

館を自主避難所として開設した。

総務部長 柱上変圧器の故障により約3,600世帯が停電したが、翌日午前1時42分に全面復旧した。

今後の対策と課題について

質問 福生市地域防災計画には、今回のような停電に対する対策が掲

載されておらず、今後の課題と考えるが、所見を伺う。

市長 今回のケースは、電力会社の設備トラブルに起因する停電であり、対策を地域防災計画へ登載することは難しいが、対応マニュアル等の策定について、他自治体の取り組み等を踏まえて研究したい。



▲柱上変圧器

市制施行50周年記念事業の在り方について

正和会
石川 義郎 議員

質問 福生市は来年、市制施行50周年を迎えるが、記念事業に向けた取り組みについて伺う。

市長 大きな節目を市を挙げて祝うため、庁内検討委員会を立ち上げた。7月1日の市制記念日に近い日曜日の来年7月5日に盛大に記念式典を行うほか、さまざまな記念事業

を考えている。今後、市民や各団体から意見を伺い、市全体で50周年を祝う気運を醸成していく。

不登校対策の新たな施策について

質問 不登校児童・生徒が全国的に増加傾向にある中、市の新たな取り組みとして、中学校における支援

機能を備えた施設を整備することだが、内容を伺う。

教育長 中学校の不登校生徒への支援の在り方として、学校復帰のみを目指すのではなく、社会的な自立に向けた支援機能を備えた東京版不登校特例校分教室を新たに設置したいと考えている。



▲市内小・中学生の投票により決定した市制施行50周年記念ロゴマーク

子どもが日常的に集団で移動する経路の交通安全対策について

公明党
青木 健 議員



▲交通安全対策のための合同点検の様子

質問 本年5月、滋賀県大津市において散歩中の園児が交通事故に巻き込まれ、園児2人が亡くなるなど、近年、歩行者が犠牲となる交通事故が後を絶たず、交通安全対策のさらなる充実が求められている。このような事態を受け、国は、未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急

安全点検を実施することとしたが、福生市において、現在、どのような取り組みを行っているか。

市長 6月下旬に東京都を通じ、厚生労働省等及び警視庁から調査の依頼があり、7月に市内の認可保育所、認定こども園、幼稚園等の各施設へ散歩経路など、子どもが通行す

る道路の交通安全上の危険箇所を把握するための調査を実施した。その調査結果をもとに危険箇所を特定し、8月下旬に約20カ所について、福生警察署の担当者や市の保育園の担当職員等の立ち会いのもと、合同点検を実施し、周辺道路の状況や対策の必要性等について確認している。

旧ヤマジユウ田村家住宅について

正和会
小澤 芳輝 議員



▲旧ヤマジユウ田村家住宅

質問 旧ヤマジユウ田村家住宅が一般公開されているが、その状況、運用方法について伺う。

教育長 田村家住宅の平成30年度の来場者数は2,957人で、玉川上水や宿橋通りを見学する史跡・ガイドツアーでの紹介や、文化財の学習や見学会の拠点として活用している。

今後も一般公開を継続しながら、保護思想の啓蒙活動の拠点機能を持たせた運用を行っていく。

長沢公園を含む周辺整備について

質問 長沢公園を含む旧ヤマジユウ田村家住宅、旧郵便局周辺の整備に関する進捗状況を伺う。

市長 宿橋通り周辺は市の和の文化を象徴する地域で、観光資源としてさらに活用するため、田村家住宅と一体的に文化財の価値を高めることや、田村家住宅と長沢公園の間の民有地を取得し、施設価値を高めることを考えている。

全ての子どもたちに学ぶ機会を確保することについて

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 平成31年第1回定例会でも、「全ての子どもたちに学ぶ機会を確保することについて」と題して質問した。教育機会確保法の施行により、不登校は問題行動ではないとされたことから、福生市立学校の不登校総合対策の見直しに関して所見を伺ったところ、見直す必要があると考え

ているというお答えをいただいたが、教育機会確保法に基づいた新たな施策について伺う。

教育長 本市における「不登校総合対策」については、教育機会確保法に基づき、現在、その改訂に向けて作業を進めている。一人一人の事情に応じた多様な学びの場や居場所

の確保が本市には必要だと感じており、例えば中学校における不登校生徒への支援のあり方として、学校復帰のみを目指すのではなく、社会的に自立に向けた支援を担った支援機能を備えた施設として、不登校特例校分教室を新たに設置したいと考えている。

産業道路の延伸に伴う沿道のまちづくりについて

正和会
山崎 貴裕 議員



▲延伸工事が行われている産業道路

質問 現在延伸工事が行われている区間は閑静な住宅地であり、そこに大きな幹線道路が通ることによる期待と不安が入りまじっているが、延伸工事に伴う沿道地区のまちづくりをどのようにしていくか伺う。

市長 産業道路延伸部の沿道となる地区は、市の中央部であり、市民

生活の利便性向上に寄与する商店等の立地に適したまちなみの形成を図るため、地区計画を定め、用途地域の見直しなどを行っていく。

産業道路と接続する福生市道整備の取り組みについて

質問 産業道路沿道の市民にとっては、産業道路に接続する多くの市

道の整備も重要ではないか。

市長 現在整備中の産業道路は中央分離帯が設置されるため、市道は分断され、一部を除いて通り抜けができなくなる。沿道住民の生活環境に影響を及ぼすことから、西多摩建設事務所に対し、地元説明会の開催など丁寧な対応を要望していく。

不適切な養育(マルトリートメント)による子どもの虐待について

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 マルトリートメントは、日常的なかかわり方の中で子どもへ過度なストレスを与える言動をいうが、これに関する市の認識を伺う。

市長 このような行為に対しては、子どもの安全と安心の確保を第一に考えた対応をとることとしている。

教育長 学校教育で関連すること

は「不適切な指導」等が考えられる。このようなことを一掃するために、服務事故防止研修等を行っている。

日米地位協定ガイドラインの改正について

質問 今年7月に、在日米軍基地の外で米軍機事故が起きた際の日米地位協定ガイドラインが改正された

が、市への影響等は。

市長 迅速かつ早期の制限区域内への立入りについて明確になり、立入りを日米両政府の責任者が優先的に行うなどの改正がなされた。万が一、事故等が発生した場合は、防衛省をはじめ関係機関との連絡を密にして適切に対応する。

ネーミングライツ(命名権)について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲プログラミング教育の教員向け研修会の様子

質問 ネーミングライツは施設建設や運用資金の調達のための手法で、福生市もこれを導入すると発表しているが、その基本的な考え方や内容等について伺う。

市長 自主財源が少ない福生市にとって、ネーミングライツは新たな財源確保の重要な手段であり、9月

2日から導入した。企業等が市に対して施設や命名権料などを提案し、応募いただく方法を考えている。

プログラミング教育について

質問 新学習指導要領で小学校のプログラミング教育が導入される、他の教科での思考力の育成と比較し

た特徴や必要性について伺う。

教育長 プログラミング的思考は、他の教科で育成してきた論理的思考力とつながっている。小学校のプログラミング教育はプログラミング的思考を育むもので、論理的に考えながら修正や改善を行うことは子どもたちにとって必要なことである。

ペダル付電動自転車の使用をなくすための啓発活動について

正和会
武藤 政義 議員



質問 平成27年9月議会で、ペダル付電動自転車の違法な走行の対策を求める一般質問があったが、その後の具体的な対応を伺う。

市長 平成30年度に、一部の外国人によるペダル付電動自転車の走行を確認した。福生警察署と連携し、市内の日本語学校でマナーアップキ

ャンペーンを行った。また、日本語学校ではバッテリーを外すなどの指導をしている。

ごみの収集について

質問 近年の外国人居住者の増加や町会加入率の減少により、ごみの収集業務に影響はあるか。また、迷惑なごみ出しへの対応を伺う。

市長 適切な分別を促し収集時間を短縮するため、外国人居住者向けにごみの出し方のパンフレットを9カ国語で用意し、周知を図っている。町会加入率の減少による収集業務への影響はない。迷惑なごみ出しに対しては、収集業者が排出指導用警告書シールにより指導している。



▲外国人向けごみの出し方パンフレット

認知症高齢者の現状と見守り対策について

正和会
幡垣 正生 議員



質問 介護支援事業における認知症高齢者の見守り対策について伺う。

市長 徘徊等の行方不明対策として、ご家族へ位置情報検索システム端末を貸し出している。本年3月からは登録番号や連絡先を記入した高齢者見守りキーホルダー及びパイロンシールの配布を開始。このほか認

知症ケアパスの配布や家族介護者教室など、介護者、地域の方々に対する理解促進も含め取り組んでいる。

末期がん等の方への要介護認定における迅速な対応について

質問 末期がん等の方への要介護の認定調査、介護認定審査会の2次判定の実施状況について伺う。

市長 早急な介護サービスの提供が必要な場合もあることから、厚生労働省から示された「留意事項」に沿い、対応している。本市での末期がん等の方の申請から判定までの平均日数は25日。2次判定は書類が整い次第、直近の審査会に諮り、迅速な要介護認定に努めている。



▲高齢者見守りキーホルダー

超高齢化社会に対する考え方と対策について

立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 本年8月時点の本市の高齢化率は25.93%。超高齢化社会に向け、どのような施策があるのか。

市長 デイサービス等の生きがい施策、配食サービス等の高齢者支援のほか、本市独自の施策に高齢者居住支援特別対策事業がある。また、要介護認定を受けていない80歳以上

の在宅高齢者の全戸訪問、介護予防のふくふく福生体操など、支える者、支えられる者双方が健康で安心して生活できるまちを目指す。

不登校の子どもたちの居場所について

質問 不登校の子どもたちへの、学校や行政の対応について伺う。

教育長 不登校に至る前のケアが

重要で、兆候が見られた際は学校側と面接を行う。教育センターのそよかせ教室は完全不登校でなくても一時利用が可能。連続7日以上欠席した場合はカルテで情報共有の上、校内委員会により解消へ組織的に取り組んでいる。子ども自身が安心と希望を感じるよう最善を尽くす。



▲ふくふく福生体操の様子

学校給食費無償化は財源的に可能であることについて

日本共産党
池田 公三 議員



質問 学校給食費は年間1億3,000万円程度だが、市のこの10年間の歳入歳出を見れば、その差額の中には納まる。無償化をしても大丈夫だったのではないか。

黒字分を財政調整基金に積み立てるべきだが、実質単年度収支に反映しない特定目的基金に積み立ててい

るのが問題で、見かけ上とは違い実際は大変ゆとりがあるはず。無償化をした自治体のほとんどは本市より財政が厳しい。過度の心配から行政サービスを減らすべきではない。

市長 本市の歳入歳出差引額となる実質収支は平成27年度決算をピークに年々減少している。また単年度

収支は28年度から3年連続、実質単年度収支も2年連続の赤字という実質的な赤字決算で、財政の硬直性を示す経常収支比率は30年度決算で93.1%と前年度から2.4ポイント悪化している。現在の財政状況は楽観視できない状況で、限りある財源を有効に使うことが重要と考える。



▲給食の調理の様子

横田基地が7年間で134件も燃料等の流出事故を起こしていたことについて

日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 6月の新聞報道では、基地内で2010年からの7年間で燃料等の流出事故が少なくとも134件発生したが、日本側に通報されたのは3件だけだったという。市の見解を伺う。

市長 報道後、直ちに事実関係を照会。8月に米側より「漏出の多くは通報の基準外。全ての漏出は環境

や人体に影響なく、施設・区域を超えることはない」と回答されたという。仮に、基地の外に影響する可能性がある場合は適切に対応する。

生活保護事業について

質問 本市での生活保護の状況は。また、生活に困った方が市に相談に来た場合の受給までの段取りは。

市長 本年4月時点で受給対象は920世帯、1,131人で微増傾向にある。まず、生活困窮者自立支援制度によりお話を伺い、他の行政施策で解決可能であれば関係部署を案内。対応困難な場合は生活保護相談に切りかえ、意思確認の上ご申請いただき、受給決定のための調査を行う。



▲横田基地

成果報酬型官民連携の委託事業について

公明党
原田 剛 議員



質問 事業者と成果報酬型の委託契約を締結し、事業者は民間から資金調達、自己のノウハウで活動。その成果に応じた委託料を支払うという手法だが、市の所見を伺う。

市長 先駆的な取り組みでは、目標の可視化やスタッフの意識改革やコスト削減等の効果がある一方、適

正な成果指標の設定や資金提供者の確保等が課題という。まだ事例が少なく、他自治体の状況を注視したい。

幼保小の教育連携について

質問 小学校教育から見て、幼児教育の重要性や課題をどう捉えるか。

教育長 教育効果を上げ、子どもの課題解決能力を高めるには、認知

スキルだけではなく、好奇心や協調性、自制心などの非認知スキルが重要で、その育成には幼保小の連携を進める必要がある。今年度は大学と「幼保小連携推進委員会」を設置、保育者・教員と保護者を対象に、連携への意識やスキル形成の過程など、現状把握のための予備調査を行う。



▲官民連携の取り組み資料（経済産業省）

平成30年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算については、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、事業別行政コスト計算書などの財務諸表を盛り込んだ決算説明書を活用し、PDCAサイクルを意識した審査となりました。

今回は、新たな試みとして、よりわかりやすい審査となることを目指し、事業別の一問一答方式での質疑を行い、原案のとおり認定されました。

なお、4つの特別会計決算については、建設環境委員会、市民厚生委員会で審査され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

補助金の活用

問 特徴的なものを伺う。

答 国や東京都の動向を注視しながら、新たな事業に充てられる補助金をチェックしており、平成30年度は、外来生物であるアライグマやハクビシンの防除や、子育て世代包括支援センターの事業、小中学校ブロック塀等改修工事等に、国や都の補助金を活用した。また、せせらぎ遊歩道公園の老朽化した橋の架けかえ工事や池の護岸工事に防衛補助を活用した。

多文化共生の講演会

問 内容と成果を伺う。

答 職員向けには、「やさしい日本語について」をテーマに、文書作成などの研修を行い、窓口で外国人に対応する職員の意識啓発につなげられた。市民向けには、「外国人を取り巻く動向と私たち

使用料・手数料等 受益者負担適正化 方針について

問 内容について伺う。

答 平成28年度に地方公

にできること」をテーマに、外国人支援の必要性等について説明があり、ささいなことでも支援できると意識の醸成につなげることができた。

AED設置の状況について

問 AED（自動体外式除細動器）を配置した店舗と台数を伺う。

答 夜間、休日でも利用可能なコンビニエンスストアへのAEDの設置は以前より要望があり、株式会社セブンイレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定に基づき、市内のセブンイレブン全17店舗のうち協定の同意が得られた14店舗に対し、AEDの設置の提供と有事の際のAED機器の受け渡し業務を行っていただいている。

窓口事務の情報セキュリティシステム復旧は

問 窓口事務における情報セキュリティの確保や、災害を想定したシステムの復旧の取り組みを伺う。

答 情報セキュリティの確保については、情報セキュリティポリシーを遵守し、毎年情報セキュリティ研修を実施している。システムの復旧については、職員間で情報セキュリティポリシーに基づく実施手順書の共有を図っている。

声「あなたとわたし」作成委託について

問 SPコードからデジジ方式のCD版に変えたことの詳細を伺う。

答 市内全戸配布している男女共同参画情報誌「あなたとわたし」の音訳について、SPコードでは情報量に限りがあるため、平成30年度から、紙面のほぼ全ての情報の提供が可能なデジジ方式としたもので、CD版の「あなたとわたし」を希望者に配布する。

骨髄移植ドナー支援事業について

問 事業の概要と、平成30年度の実績を伺う。

答 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄または末梢血幹細胞を提供した者等に対し助成金を交付する事業で、申請により、提供のための通院、入院、面接等に要した日数（上限7日）に、提供者は2万円、提供者が勤務する事業所は1万円を乗じた額を支給する。平成30年度の申請は提供者1件で、上限7日分の助成金を支給した。

プレイパークの活動状況について

問 プレイパークの活動内容を伺う。

答 平成30年度は隔月で全6回、中福生公園及び

多摩川中央公園において実施し、来場者数は延べ362名であった。工具で木材を加工する木工エリア、かまどで調理を行うたき火エリア、ブルーシート上で乳幼児が過ごしたり手芸を行う乳幼児手芸エリアなどを設け、さまざまな体験ができるプログラムとした。

保育所等ICT化推進事業補助金について

問 ICTの内容と、参加している保育所の数は伺う。

答 保育の業務を支援するシステムで、園児の登園・降園の管理をタブレット端末等で行う機能、園児の成長記録の作成機能等がある。市内で導入を希望した12園で実施しており、内訳は、認可保育園が1園となつている。

空き家住宅除却助成事業について

問 これまでの住宅建替促進事業を見直したものとこのことだが、件数増の理由と助成の要件を伺う。

答 従来、空き家の除却後に同地で住宅新築を行った場合等に助成していたが、除却に特化した形で事業を新設した。潜在的ニーズに合う形で制度設計できたことが件数増の要因と考える。昭和56年5月31日以前に着工された住宅であること、おおむね1年以上空き家となつていること等が助成の要件となつている。

スクールソーシャルワーカーの活動について

問 不登校対策に重きが置かれているが、その他の活動の実例を伺う。

答 ふっさつ子の広場への定期的な巡回相談を行っている。発達の特徴を抱える児童と他の児童とのトラブルに指導員が苦

栄養士嘱託員の業務について

問 食育的な視点からの取り組みと課題を伺う。

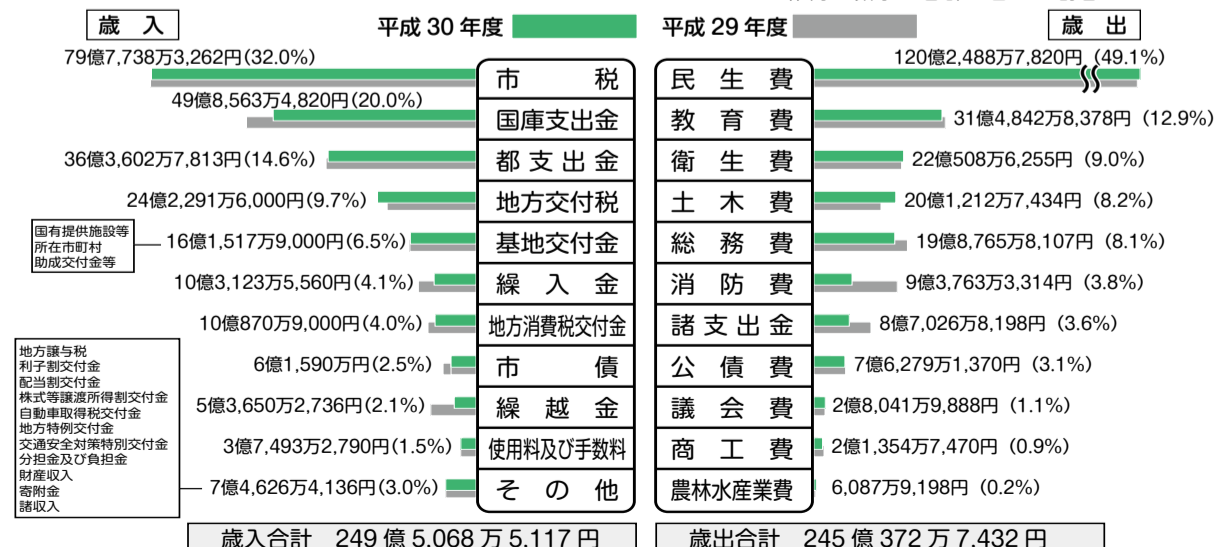
答 児童・生徒がさまざまな食材、料理を経験できるように、旬の食材や地場産物、行事食や日本各地の郷土料理などの献立を取り入れ、魅力ある給食づくりを進めている。食品ロス低減に取り組むため、児童・生徒が食べ残した給食の残菜量を毎日計量し、学校と情報共有することにより、給食指導に役立てている。



▲平成30年度一般会計決算を起立多数で認定

平成30年度 一般会計決算の款別内訳

()内の数字は合計に占める割合



可決された案件(要目)

●福生市表彰条例の一部を改正する条例

平成30年に全面施行された成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく措置として、表彰からの除外に関する規定を整備するもの。

●福生市印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、印鑑の登録に係る旧氏に関する規定を整備するもの。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令の「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の一部改正に伴い、特定地域型保育事業者による連携施設の確保に関する規定等を整備するもの。

●福生市消防団に関する条例の一部改正をする条例

消防団の対応力を拡充するため、消防団員の定員を増やすほか、消防団員の欠格条項に関する規定を整備するもの。

●福生市保育の必要性の認定に関する条例を廃止する条例

子ども・子育て支援法

の一部改正による子育てのための施設等利用給付制度の創設に伴い、子どものための教育・保育給付制度に関する見直しを行うため、本条例を廃止するもの。

●令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)

幼児教育・保育の無償化に伴う歳入歳出の増額及び減額、プレミアム付商品券事業の実施に伴う歳入歳出の増額などで、歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億2281万5千円を追加し、258億432万4千円とするもの。

●令和元年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成30年度決算に伴う、繰越金並びに保険給付費等交付金の精算等に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7827万1千円を追加し、71億4539万2千円とするもの。

●令和元年度福生市介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成30年度の介護給付費等の確定に伴う、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計繰入金の精算に当たり、歳入歳出予

算の総額にそれぞれ2億290万円を追加し、45億4936万4千円とするもの。

●令和元年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

公営企業会計移行後、初めての補正予算となり、法適用前年度である平成30年度決算の調整が完了し、また、公営企業会計開始時点の固定資産の評価額が確定したことに伴い、所要額を予定額から確定額に補正するため、第3条による収入に10億8万5千円を追加し、15億8886万1千円に、支出に1億82万円を追加し、14億74万9千円にするもの。なお、今回に限り、引継金の確定に伴う資本的収入支出の補正、また平成30年度決算の3月末の打ち切り決算に伴う経過措置として、特例的収入支出の確定による補正を行う。

●平成30年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正6回を加え、歳入歳出253億2416万1千円。歳入決算は249億5068万5117円。歳入率98・5%、前年度比6・2%の減。歳出決算は245億372

●平成30年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を加え、歳入歳出12億1597万7千円。歳入決算は12億1501万3091円で収入率99・9%、前年度比

6・7%の増。歳出決算は12億110万4514円。歳入率98・8%、前年度比6・6%の増。歳入歳出引残額は1390万8577円。

●平成30年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正2回と29年度からの繰越明許分を加え、16億7358万7千円。歳入決算は17億6216万1458円で収入率105・3%、前年度比9・0%の増。歳出決算は13億3874万158円で執行率80・0%、前年度比1・5%の増。歳入歳出引残額は4億2342万1300円。

●福生市教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、引き続き渡辺浩行氏を教育委員会委員として再任することに同意するもの。

●福生市農業委員会委員の任命について

森田龍幸氏の辞任に伴い、新たに野崎賢吾氏を農業委員会委員として任命することに同意するもの。

市営競技場の人工芝化

●市営競技場人工芝敷設工事請負契約

市営競技場の人工芝化

●市営競技場人工芝敷設工事請負契約

市営競技場の人工芝化

●市営競技場人工芝敷設工事請負契約

市営競技場の人工芝化



▲人工芝敷設工事を実施する市営競技場

について、予定価格が1億5千万円以上となることから、福生市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の同意を得ようとするもの。契約金額は1億9151万円。

次回定例会のお知らせ

令和元年第4回定例会は、12月3日(火)から12月20日(金)までを予定しています

- ◆本会議 午前10時開会 12月3日(火)～6日(金)及び20日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会 12月10日(火)～12日(木)

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴はどなたでもできます

ご希望の方は会議の当日、議会事務局(市役所第二棟3階)で傍聴の手続きをしてください。

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

ご利用ください！インターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ→「福生市議会」よりアクセス

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をディジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

議案の審議結果 (○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案								
議案第46号	福生市表彰条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	福生市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	福生市保育の必要性の認定に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	令和元年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	令和元年度福生市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	令和元年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	平成30年度福生市一般会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	認定
議案第56号	平成30年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	認定
議案第57号	平成30年度福生市介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	平成30年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	平成30年度福生市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	福生第三小学校増築工事(建築)請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第61号	市営競技場人工芝敷設工事請負契約	○	○	○	○	○	○	同意
議案第62号	福生市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第63号	福生市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について	○	○	○	○	○	○	異議ない旨を答申

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月18日に委員会が開かれ、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)
(建設環境委員会所管分)
問 プレミアム付商品券の販売場所と販売時間は。答 販売場所は市内郵便局全6支局、販売時間は平日の午前9時から午後5時まで、毎週土曜日は福生郵便局にて、日曜日は毎月1回扶桑会館にて販売する予定である。

市民厚生委員会

9月19日に委員会が開かれ、9件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。

◆福生市印鑑条例の一部を改正する条例
問 印鑑登録証明書に旧氏を併記するための登録方法は。答 併記したい旧氏が記載されている戸籍謄本等から現在の戸籍に至る全ての戸籍謄本等を添付した旧氏記載請求書を提出する。旧氏の印鑑登録も可能。



▲プレミアム付商品券

◆令和元年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)
問 公営企業会計移行に伴う補正だが、今後も同様の補正が組まれるのか。答 引継金および特例的収入・支出は、出納整理期間が存在した官庁会計の収入・支出の特例的な措置として、移行初年度のみが発生するものであることから、今後このよ

正する条例

問 今回の改正内容は、基準となる内閣府令が改正されたことを受けた条例改正であり、特定地域型保育事業について卒園後の受け皿が広がるものと理解したが、これによって市内の施設に影響はあるのか。

答 ちやいれつく福生駅前保育園と、福生多摩乳幼児部ひよこの2園が対象だが、すでに卒園後の受け皿として連携施設をいづれも確保しているの

総務文教委員会

9月20日に委員会が開かれ、5件の議案を審査し原案のとおり可決及び同意されました。また、

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)
(市民厚生委員会所管分)
問 年収及び第1子の年齢にかかわらず、都の補助金を活用して0、2歳児の保育料を半額に、第3子以降の保育料を無償化にすると、新たに保育料が軽減される人数の見込みは。答 保育所等多子世帯負担軽減事業補助金を活用し、年収360万円以上相当の世帯について減免拡充するもので、118人と見込んでいます。

◆令和元年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 介護予防リーダー養成講座の内容と成果は。答 介護予防の知識や集いの場で実践する運動指導のスキル等を学び、健康行動を地域で波及できるリーダーを養成する。受講者17名のうち14名が修了した。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)
(総務文教委員会所管分)
問 オリンピック・パラリンピック等教育推進事業の詳細は。答 家族介護教室の内容は。答 介護に関する知識や介護予防について、また、介護者自身の健康についても学ぶ。介護者の交流する場を設け、悩みを共有する貴重な場となった。全4回で参加者は延べ110名。

◆令和元年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 年度末時点での、短期証該当世帯数と未交付世帯数は。答 該当世帯数は402世帯658人、そのうち未交付は112世帯123人分。

◆福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例
問 消防団員の定員5名拡充する目的は。答 消防団機能の拡充を図るとともに、女性消防団員の採用も念頭にしており、避難所等において女性に配慮した対応も可能と考える。

◆平成30年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 女性の消防団の近隣他市での導入は。答 青梅市では平成26年度より、また羽村市では平成11年度より、瑞穂町では平成31年度より採用している。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第4号)
(総務文教委員会所管分)
問 オリンピック・パラリンピック等教育推進事業の詳細は。

答 学校にもよるが車椅子マラソン・バスケットボールの選手などの競技見学や体験を行う。また藍染め・和太鼓・茶道等の日本文化の体験を実施する。

問 学校給食センター管理事務の維持管理委託料が減額となった理由は。

答 施設稼働3年目となり、業務の効率化や施設管理運営の安定化により労務負担等が相当程度軽減された事が積算に影響している。

問 中央図書館の管理事務の清掃委託料が減額されているが業務への影響はないか。

答 従業員の最低賃金は確保されており、業務は効率的・計画的に行われている。

問 財務会計システム改良委託料の増額理由は。

答 令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が開始されることで財務会計システムを改修する必要が生じるため。

問 積立金における都市施設整備基金積立金2億円の増額補正の理由は。

答 現在策定中の個別施設計画による公共施設の維持管理コストや福生駅西口再開発に伴う公共施設整備など、当該基金活用への需要が見込まれるため。

◇市営競技場人工芝敷設工事請負契約
問 事業の総合評価で価

格評価と技術評価を7対3の割合にする理由は。

答 国土交通省のマニュアルを基に、近隣市の状況及び競争による経済的メリットや技術評価による工物品質の確保が可能な比率を検討し決定した。



▲日橋公園・みずくらいど公園を現地視察

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。

議会改革に関する協議会から～新たな取り組み～

傍聴者や市民の方々によりわかりやすい議会となるよう、平成30年度福生市一般会計決算審査特別委員会の質疑の方法について、一問一答方式の考え方を取り入れ、新たな質疑の方法として試行実施しました。今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する様々な事項について協議していきます。

特別委員会活動から…

横田基地対策特別委員会

9月24日に委員会が開催され、3件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地日米友好祭について

9月14日(土)及び15日(日)の2日間にわたって開催された日米友好祭について、次のような報告がありました。
①2日間合計の入場者数は、14万人であった(前年度は14万5千人)。



▲日米友好祭(米空軍第374空輸航空団フェイスブックより)

②航空機の展示や各種露店の設置、特設ステージでのバンド演奏等が行われた。また、陸上自衛隊第一空挺団による空挺降下の展示や米軍機の飛行展示も行われた。花火は、15日の夜に打ち上げられた。
③8月20日に、友好祭における安全確保等について、横田基地等に対して

要請を行った。また、来場者向けに、市ホームページで公共交通機関の利用や牛浜駅以外の利用について周知を図った。

2 横田基地に関する情報等について

6月22日から9月24日までの報告がありました。主な内容は次のとおりです。
①7月3日深夜に、米国立記念祝賀行事において花火が打ち上げられた。
②7月16日、17日に、陸上自衛隊員約1000名が、横田基地で米軍C-119輸送機に乗り、大分県にある日出生台演習場で空挺降下訓練を実施した。

③7月19日に、フレンドシップパークで横田基地の有志による公園清掃等のボランティア活動が行われ、15名の参加があった。
④7月20日に、横田基地で航空機空中衝突防止会議が開催された。
⑤7月24日午後、基地内警戒態勢の強化訓練が行われた。航空機の運用はなかったが、PAS等が使用された。
⑥7月30日、31日に事前の情報提供がなく、人員降下訓練が行われた。
⑦8月5日から今年の秋までの予定で、グローパーホーク4機と人員約80

名が、横田基地に一時展開している。

⑧8月19日から21日の間、サムライ即応監査という、有事における即応態勢の維持強化のための訓練が行われた。
⑨8月20日から23日の間、横田基地で、日米施設部隊による共同の滑走路被害復旧訓練が行われた。
⑩9月4日、5日に、横田基地で、日米施設部隊による共同の消防訓練が行われた。

3 国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について

総務省に対して行う要望事項等について協議しました。要望事項は、交付金の増額、対象資産の範囲の拡大・拡充など、全4項目です。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択
○玉川上水緑地日光橋公園及び水喰土公園の整備事業の見直しを求める陳情書(1・7号)

望事項等について協議しました。要望事項は、交付金の増額、対象資産の範囲の拡大・拡充など、全4項目です。

討論

●平成30年度福生市一般会計決算認定について

【反対】市民の生活を守り、地域振興のため、福生市の財政力をもっと積極的に活用すべきであったこと、市民の暮らしを守る防波堤になり得ていないこと、少子化及び人口減少に対する有効な対策が極めて不十分であったこと、有識者が乗れる市内循環バスや自転車駐輪場を無料に戻すことなどの施策が取り入れられなかったこと、横田基地への対応などの問題点があることから、本決算に反対する。

【賛成】

「子育てするならふっさ」のスローガンのもと、積極的な定住化施策への取り組みや、子育て世代包括支援センター事業などの組織を超えた連携が図られており、市民生活の向上を目的とした数々の施策が実現されたこと、本決算に賛成である。

また、財源確保に対する努力や、財務書類から得られる数値等を有効に活用し、福生市が直面する諸課題についても的確に対処していることから、本決算に賛成である。

【賛成】

平成30年度は、受益者負担の適正化が行われるなど、公会計制度改革が深化した年であった。

また、緊急を要する小中学校ブロック塀等改修工事や、次世代につながる子育て支援施策、教育施策などが積極的に推進され、老朽化した公共施設の計画的更

【賛成】

新・統廃合・長寿命化に備えるための基金への積み立ては、今後の財政需要から鑑みて、的確に判断したと評価するものであることから、本決算に賛成する。

また、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの包括的な支援体制をいち早く整えたこと、新入学児童・生徒学用品扶助費等の充実など、子ども一人一人に寄り添う施策の取り組みが実施されたことから、本決算に賛成である。

【賛成】

弱い人々を守りたいという立場から次の3点について確認した。
1 点目の市民の暮らしが豊かになる取り組みについては、扶助費など、市民に引き合わせた取り組みを行っていること。
2 点目の定住化対策については、子育て世代包括支援センター事業の実施について。
3 点目の不登校対策については、成果とは「子どもに寄り添えること」ということ。

以上のことを確認し、本決算に賛成する。そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●平成30年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●玉川上水緑地日光橋公園及び水喰土公園の整備事業の見直しを求める陳情書

編集後記

相次ぐ災害で被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

10月1日より消費税が10%になりました。今回の消費税引き上げに合わせ、軽減税率が初めて導入されております。「酒類と外食を除く飲食料品」と、「定期購読契約が結ばれた週2回以上発行される新聞」に限って、税率を8%に据え置きとなっております。

更には景気対策としてキャッシュレス決済によるポイント還元などもあります。カード決済で支払額を減らせる場合があるとのこと。

福生市では、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的として、プレミアム付商品券の販売を行っております。これは今年の3月議会で補正予算を審議したことで事業が決定しました。詳しくは市ホームページ等でご確認ください。

市議会では、すべて市民の暮らしに関わることを審議しています。福生市に暮らす皆様の生活がより良いものになるよう引き続きがんばってまいります。